



2002年1月10日

株式会社有線ブロードネットワークス

株式会社日立製作所

**株式会社有線ブロードネットワークスが
IPv6ネットワークシステムとしてIPv6対応ギガビットルータ「GR2000」、
統合システム運用管理ソフトウェア「JP1」を稼働
－IPv6普及・高度化推進協議会IPv6アクセス実験に参画－**

株式会社有線ブロードネットワークス(代表取締役社長 宇野 康秀 以下 usen)は、IPv6 普及・高度化推進協議会が主催する IPv6 実証実験用システムとして、株式会社日立製作所(取締役社長 庄山 悦彦 以下 日立)の IPv6*1 対応ギガビットルータ「GR2000」及びネットワーク管理プログラム「JP1/Cm2」を中核とする IPv6 ネットワークシステムをこのたび稼働させました。

usen は、IPv6 普及・高度化推進協議会が中心となり通信・放送機構(TAO)や総務省と連携して推進している IPv6 実証実験に参画しており、三菱総合研究所と協力して実験参加の一般加入者への IPv6 アクセス網を提供する役割を担っています。

今回、日立のギガビットルータ「GR2000」、ネットワーク管理プログラム「JP1/Cm2」を使用し、IPv6 ネットワークシステムを新たに構築し、実験参加を希望する一般ユーザ(最大 50 世帯)に対し、光ファイバによる大容量 IPv6 インターネット接続の実証実験を行う予定です。(期間 2002 年 1 月～3 月)。

本 IPv6 実証実験は、IPv6 の普及促進を図るとともに、現状の技術的課題や市場ニーズの調査を行うことを目的としています。

従来各通信事業者が行ってきた IPv6 実験は、IPv6 ネットワークのバックボーンの検証が中心であり、IPv6 が普及する上で重要な末端の一般加入者へのアクセス網の IPv6 化については検証がなされていない状況でした。

usen は本実証実験に参画、一般加入者への IPv6 接続サービス提供時に必要となる運用管理ノウハウを他社に先がけ蓄積し、IPv4 から IPv6 への移行技術の検証を行います。

本実験ネットワークシステムの中核機器である日立ギガビットルータ「GR2000」は、IPv6 ハードウェアルーティング*2 に対応しており、usen の光ファイバブロードバンドサービスに要求される超高速パケット中継処理を実現、安定した通信が可能なことに加え、IPv6 に取組む様々なキャリア・iDC*3・ISP*4 への豊富な導入実績があることも高く評価され、このたびの採用となりました。ルーティングプロトコルは、スタティック*5、RIPng*6、OSPFv3*7、BGP4+*8 に対応しており、多種多様な IPv6 ネットワーク構築が可能な点も、評価されました。

また、ネットワーク管理プログラム「JP1/Cm2」はIPv6 ネットワーク管理が行える唯一のツールであり、かつ既に複数のシステムでの使用実績があること、及び既存IPv4 ネットワークとのシームレスな管理ができること等が評価されて採用されました。本実験では、IPv6 ネットワーク運用ノウハウの蓄積に利用されます。

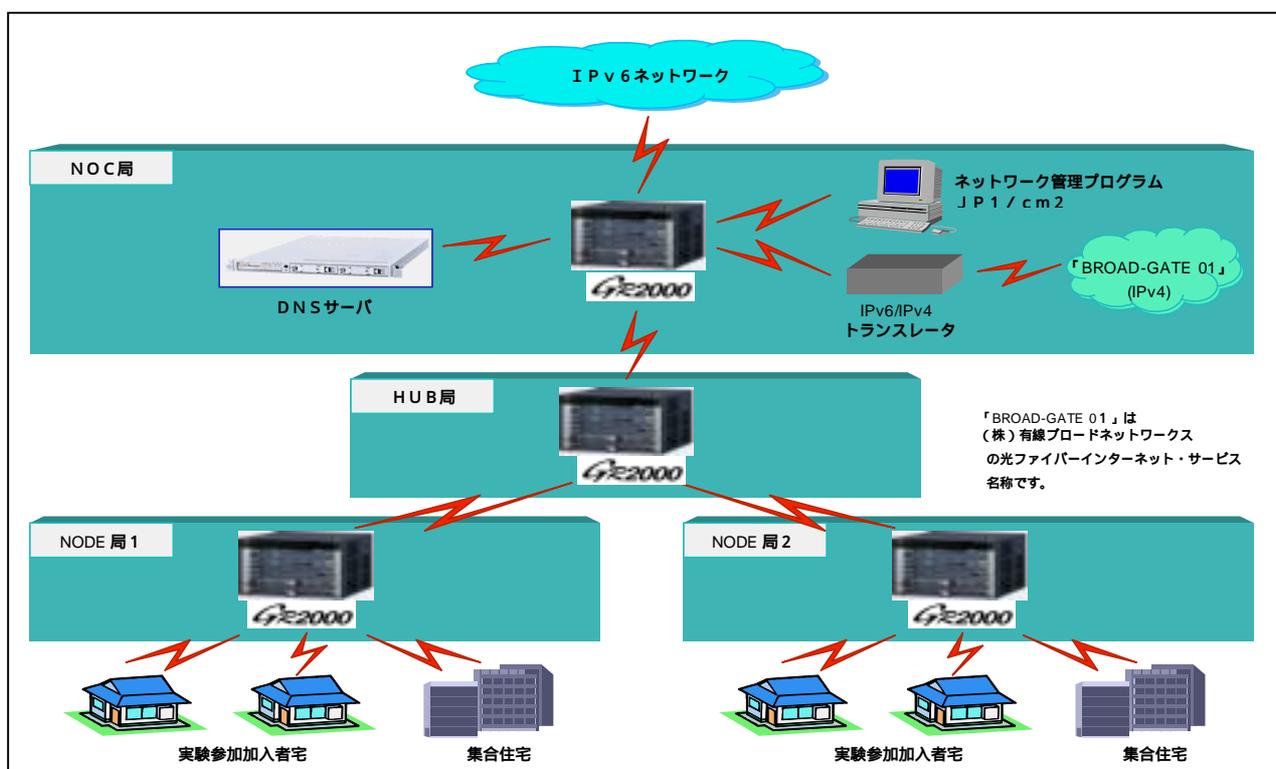
日立は、今回「GR2000」を中核としマルチベンダで IPv6 ネットワークシステムを構築した技術ノウハウを活かし、各通信事業者の IPv6 ネットワーク構築を御支援していくことで、IPv6 普及推進に貢献してゆく所存です。

【usen の IPv6 アクセス網実験項目】

- IPv6 対応機器のブロードバンド(100Mbps) 対応状況の確認
- 既存ソフト(コンテンツ)の IPv6 対応
- ISP 内部ルーティング(経路)の増大への対応
- 監視・運用手順のノウハウ蓄積
- エンドユーザニーズの調査
- IPv6 端末の市場性

IPv6 アドレス割り当てに関する検証

usen のIPv6実験ネットワーク構成図



【用語の説明】

- *1 IPv6(Internet Protocol version 6):現在のインターネットプロトコル IPv4(Internet Protocol version4)を拡張・高機能化した次世代インターネットプロトコル。アドレスが 128bit(約 3.4x10 の 38 乗個)分ある。
- *2 ルーティング(Routing):ネットワーク上の目的アドレスまで転送経路を選択するプロセス。
- *3 iDC(Internet Data Center):企業からサーバをはじめとしたシステムを預かり、その企業のインターネット運営を代行する施設のこと。
- *4 ISP(Internet Service Provider):インターネット接続事業者。
- *5 スタティック(Static Routing):ネットワーク内の中継経路を予め固定的に設定する方式。
- *6 RIPng(RIPng Routing Information Protocol Next Generation):ルーティング・プロトコルの一つである RIP(Routing Information Protocol)を、IPv6 に対応させたもの。
- *7 OSPF(Open Shortest Path First):パケット送信する際の最適なルートを決定するための経路情報交換用プロトコル。
- *8 BGP(Border Gateway Protocol):IP ベースのネットワークにおいて、AS(自律システム)間の経路情報を交換するためのプロトコルで、BGP4+ はIPv6 対応。

取扱事業部・照会先

●株式会社日立製作所 システムソリューショングループ
ネットワークソリューション事業部 キャリアシステム推進センタ[担当:江間]
〒140-8573 東京都品川区南大井六丁目26番2号 大森ベルポートB館
電話 03-5471-2389(ダイヤルイン)

■報道機関お問い合わせ先

株式会社有線ブロードネットワークス 社長室 広報 [担当:山田]
〒100-6113 東京都千代田区永田町二丁目11番地1号 山王パークタワー
電話 03-3509-7104

株式会社日立製作所 情報・通信グループ統括本部 経営企画本部
経営企画部 広報グループ[担当:平野]
〒101-8010 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地
電話 03-5295-1682(ダイヤルイン)

以 上